

添付資料 4-1

ベトナム全土の広域地質

ベトナム全土の広域地質

ベトナム地域はインドシナプレートと南シナプレートの一部にあり、これらの境界は北西－南東系の Red River 断層帯である。(広域地質図参照)

ベトナム地域は地質及び地質構造から、以下の 5 つの地質構造ブロックに分けられ、主要な断層は 10 本存在している。以下に地質構造ブロック毎に記載する。

I) 北東ブロック

南中国プレートの一部であり、主として古生代から第四紀堆積岩からなり、一部花崗岩からなる火成岩が分布する。

①Cao bang-Tien yen、②Dong treiu 断層、③Chay river 断層、④Red river 断層が存在する(広域地質構造図)。

II) 北西ブロック

主として古生代・中生代の堆積岩からなる北西－南東系の褶曲地帯である。古生代・中生代ともに堆積岩には石灰岩が多く含まれる。ベトナムでは最も古い堆積岩が分布する。Red River 断層帯に沿った同系列の構造線が多く分布する地域である。

④Red River 断層、⑤Da river 断層、⑥Son la 断層、⑦Ma river 断層及び⑧Dien bien-Lai chau 断層が存在する。

III) Truongson ブロック

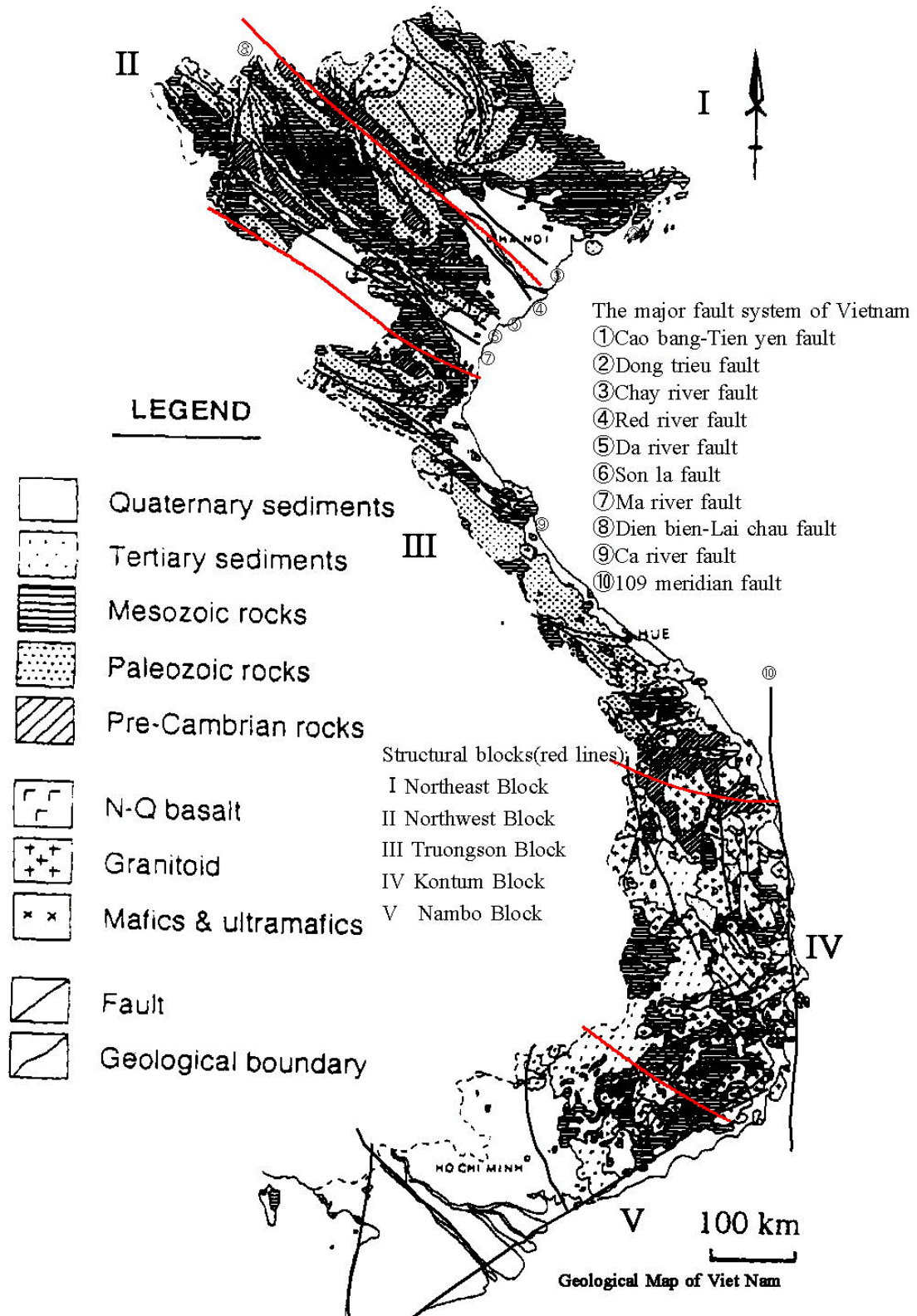
北西ブロックと同様、主として古生代堆積岩からなる北西－南東系の褶曲地帯である。構造線は少なく、⑨Ca river 断層が存在する。

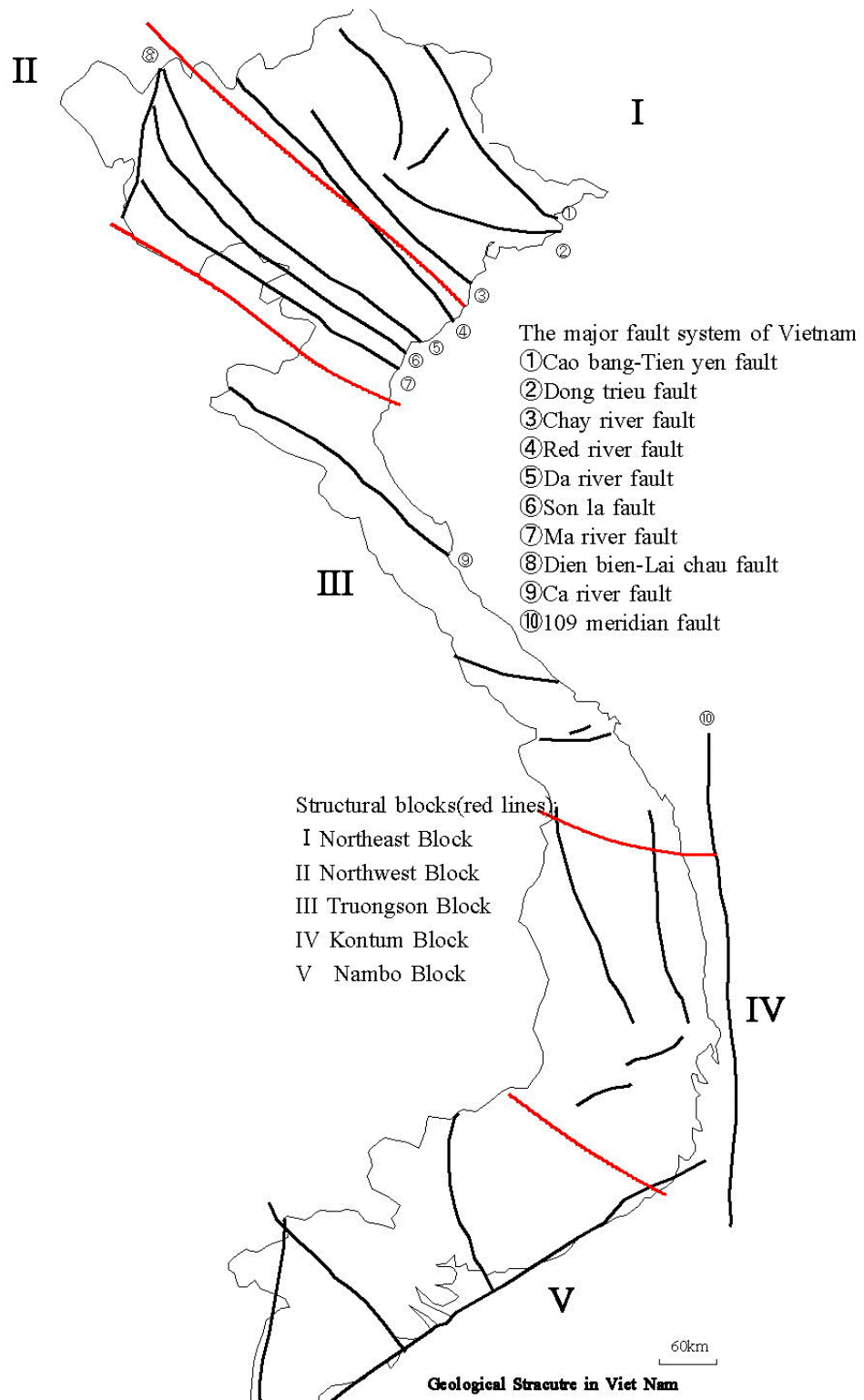
IV) Kontum ブロック

隆起した地塊となっており、始世代(先カンブリア紀)から中生代までの堆積岩と火成岩がほぼ同程度の割合で分布する。このブロックには古生代の地層は分布しない。このブロックにおける構造線は南北系が卓越し、主要なものは海岸に沿う⑩109meridian 断層のみである。

V) 南部ブロック

南部ブロックは大陸の浅瀬で堆積した非常に厚い新生代(第四紀)堆積岩に覆われている。主な構造線は北東－南西系のものが半島南部の海岸線を構成しており、これにメコンデルタを縦断する北西－南東系のものが顕著である他はほとんどみられない。





添付資料 4-2

自然保護区域と揚水素材地点の位置関係

MAP OF VIETNAM (study sites)

